

11月の岡部さんの山行記です。 2020年11月29日 子ノ泊山（ねのとまりやま）906m

山のクラブの皆さま、お元気ですか？

コロナ禍で山行ができず。皆で歩く機会が奪われたまま年越しになってしまいますね。

コロナの勢いは歯止めが止まらず、この先どうなっていくんでしょう！！

さて、そんな中、体力が落ちないように近場で人に会うことが少ないところを歩いていますが、恒例になっている干支の山が三重県と和歌山県の県境にあるということで行ってきました。子ノ泊山（ねのとまりやま）906m、前泊して朝6時出発、車で40分ほど、林道を車1台がやっとのくねくね道を慎重に走り登山口に着きました。4～5台は置けるスペースあり。

目の前に鉄のハシゴ。そこからいきなり岩がゴロゴロ苔むした登りが始まります。干支の山でもあり町の最高峰ということでしっかり道しるべのテープがついていて手が入っていることが分かります。分岐には看板もあり植生も常緑樹あり、ヒメシャラの群生、シャクナゲの群生と変化があります。

頂上には「ようこそ干支の山へ」「12年後にまた会いましょう」とカラフルな手書きのイラストの看板があり、にぎやかな山頂です。三角点にタッチ、展望もまあまあ、大台ヶ原がたおやかに見ることができました。下山まで誰にも会うことがなく約3時間の歩程、静かな南紀の温暖な風を感じながら歩くことができました。ナナカマドの実の赤と思いきや、みかん科のシキミトいう実がたわわに唯一色を添え、名残りの紅葉の山肌に生えていました。12年後には来ることはまずないでしょうが、ぬくもりを感じる山でした。

